

## 人が輝き、まちがときめく、ふれあい交流都市の実現のために

2月15日(火)、第1回登別市第4次総合計画第2期基本計画策定市民検討委員会が開かれました。

同委員会は、市の目指す将来都市像を実現するために市政運営の基本的目標と施策を示す『基本計画』（平成17年度で終了する基本計画に代わる平成18年度から平成27年度までの新たな基本計画）の策定を、市民と行政の協働で取り組もうと設けられました。委員は、団体推薦と公募の48人で、6部会『まちづくり部会（総合調整としての機能）』『育み部会』『クラスター部会』『住みよさ部会』『やさしさ部会』『環境生活部会』に分かれて活動します。

委員への委嘱状交付後、あいさつに立った上野市長は、「困難な時代であるからこそ、行政と市民が力を合わせて、登別市がしっかり目標に向かって行くような計画を策定することは、たいへん意義が深い」とあいさつ。続いて役員選出により委員長に石井憲一さん（日本工学院北海道専門学校副校長）が選ばれたほか、今後の計画策定スケジュールの説明や市民ニーズアンケート（昨年11月実施）の結果などが報告されました。

なお、計画は9月までに策定する予定となっています。

### ～第1回登別市第4次総合計画第2期基本計画策定市民検討委員会～



◀委嘱状の交付

## 天然の足湯を楽しんで

### ～大湯沼川探勝遊歩道親水施設整備～



市は、1月、大湯沼川探勝遊歩道に親水施設を整備しました。大湯沼川は、登別温泉の泉源の一つである大湯沼から注ぐ、硫黄の香りのする白濁色の小さな川で、以前から天然の足湯を楽しむ市民や観光客が訪れるなど、隠れた観光名所となっていました。

これに着目して市は、観光客や市民の皆さんに、気軽に天然の足湯を楽しんでもらおうと、昨年9月の台風18号による強風で倒れたナナカマドやシラカバなどを利用し、丸太製のベンチやいすを設置するなどして、親水施設を整備しました。

※足湯は、水温に注意してご利用ください。

## 鬼から元鬼と勇鬼をもらったよ！

### ～2005年鬼まつり～

1月29日(土)鷺別・若草、幌別、登別地区の3地区で、2月3日(木)登別温泉地区で、厄払いと福を招くイベント『2005年鬼まつり』（同実行委員会主催）が行われました。

毎年恒例の赤鬼・青鬼に仮装した『豆まき隊』による幼稚園・保育所・商店街などの訪問と豆まきのほか、もちつき、鬼とのジャンケン大会、歩道へのアイスキャンデル設置など、地区ごとに趣向を凝らしたイベントが行われました。

『豆まき隊』の幼稚園・保育所の訪問では、子どもたちが鬼に向かって、力いっぱい豆を投げていました。



赤鬼・青鬼の幼稚園訪問（富士幼稚園）